

# 当組合が取組む クラウドファンディング

平成30年2月18日

いわき信用組合

# いわしんは2つのクラウドファンディングで応援します。

地域×クラウドファンディング

FAAVO  
磐城国

<https://faavo.jp/iwakinokuni>



MOTTAINAI  
もっと

<https://mottainai-motto.jp/>



いわき信用組合は、地域の小規模事業者の皆様の新商品・新サービスの開発、また地域の課題解決に取り組む団体・個人の皆様へ、「FAAVO磐城国」「MOTTAINAI もっと」の2つの「購入型クラウドファンディング」サイトを通じた融資とは異なる新しい資金調達方法を提案しています。

たとえば

地域おこしやまちづくりなどのイベントや新商品・新サービスの開発資金を集めるために…

たとえば

自社製品の販売促進やPR、新たな顧客の開拓などに…

## クラウドファンディングって？

インターネット上の専用の仕組みを利用し、不特定多数の人たちから資金の提供を受けることです。資金の提供者（出資者）は、自分が共感した事業やプロジェクトに数千円から数万円までの資金を提供し、商品やサービスなどの権利をリターンとして受け取ります。



いいひと、いいまち、いい暮らし。



詳細はこちらまでお電話ください

☎0246-92-4166 (地域開発部直通)

住 福島県いわき市小名浜花畑町2-5 営 9:00~17:00 休 土・日曜日、祝日 URL <http://www.iwaki-shinkumi.com>

# 「FAAVO磐城国」

■委託契約によるクラウドファンディングサイト「FAAVO」の運営を当組合が直接行う。

※創業・起業(予定者を含む)又は既存事業者の新品・サービス開発資金やまちづくり、あるいはソーシャルビジネスなどに取り組む団体や個人を対象に融資や投資とは異なる新たな資金調達を提案していく。



Project Title	Progress	Status
「新再生可能エネルギー」を全国版新聞広告に載せて地球温暖化阻止を訴えたい	達成率 3% 集まっている金額 60,000円 残り 41日	進行中
はばり食部達とコラボして、NEXT GOAL 150%に挑戦中	集まっている金額 3,657,000円	終了
福島田んぼアートプロジェクト	集まっている金額 1,354,000円	終了
手押しで回す、伝統ある「いわき回転やぐら」を復活させたい!	集まっている金額 1,177,000円	終了
重症心身障がい児が通うデイサービスで、送迎をする為の車両を購入したい!	集まっている金額 1,170,000円	終了
伝統をつなぐ「KIMONO Remake」の世界へ皆さまをご招待したい!	集まっている金額 1,118,000円	終了
眠れぬ夜を過ごす被災者に、オール福島の「願り杉枕」を開発して届けたい!	集まっている金額 937,000円	終了
オリブ葉の手づくり石鹸で、「いわきオリブの森」を応援したい!	集まっている金額 523,000円	終了
「アライバル」	達成率 300%以上	終了
「満月茶」	達成率 300%以上	終了

「FAAVO磐城国」の運営スキーム



株式会社 サーチフィールド



※ライセンスの供与

地域×クラウドファンディング



いいひと、いいまち、いい暮らし。  
いわき信用組合



※パートナー契約



豊かな「くらしづくり」に奉仕する  
相双五城信用組合



デザインノ



Office Genie  
オフィス ジニー

クラウドファンディング「MOTTAINAI もっと」について

概要

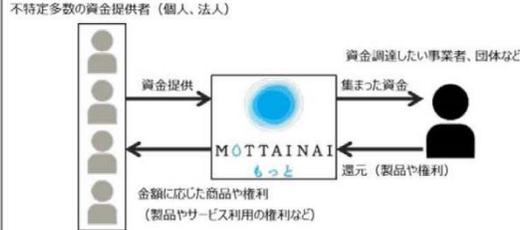
「MOTTAINAI もっと」は、環境分野で初のノーベル平和賞を受賞したケニア人女性ワングリ・マータイ氏が提唱した世界共通語「MOTTAINAI (もったいない)」の考え方をもとに、「クラウドファンディング」を組み合わせ、全国各地の信用組合のお取引先について、地域から発信する新しいアイデアや製品、新しいことに挑戦する人々の想いを、もっと多くの方々に知ってもらい、もっと応援してもらうための購入型クラウドファンディングサイトです。本サービスは、全信組連、ミュージックセキュリティーズ㈱（以下「MS」）、伊藤忠商事㈱（以下「伊藤忠商事」）および毎日新聞社（以下、毎日新聞社）が業務提携して平成 28 年 12 月上旬を目途にサービスを開始いたします。

- **MOTTAINAI** マータイ氏が提唱した考え方をもとに、毎日新聞社や伊藤忠商事㈱が中心となって進めている世界的な環境キャンペーンです。(MOTTAINAI ホームページ <http://www.mottainai.info/jp/>)
- **購入型クラウドファンディング** 新たな商品やサービスを開発するために必要な資金を調達する仕組みで、金銭でのリターンは無く、集めた資金で完成した商品やサービス等が「お礼の品（サービス）」として資金を出した人に提供される仕組みです。

<シンボルマーク、サービスロゴ>

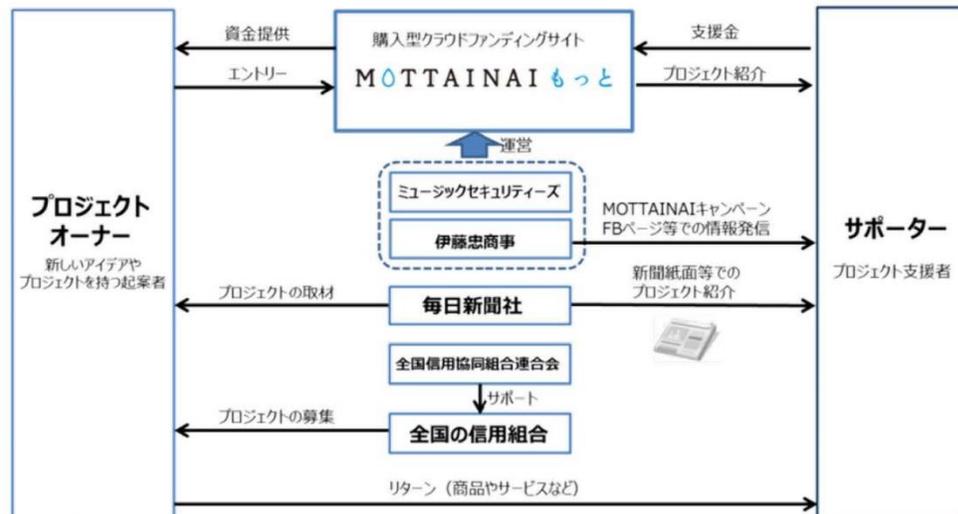


<購入型クラウドファンディングの仕組み>



本サービスは、新製品開発や新しいアイデアを持つ信用組合取引先の事業者が、その新製品開発や新しいアイデアの実現に向けて地元や日本全国の人々から資金提供を受けるためのサービスです。新製品開発や新しいアイデアにかける事業者の「思い」を募集ページで表現して人々から共感を得ることで、単なる資金調達にとどまらずにファンづくり・販路拡大・テストマーケティングとしてもとても効果のあるサービスです。

サービスの仕組みと役割



信用組合

- お取引先や地域から本サービスを利用する事業者（プロジェクトオーナー）の発掘
- プロジェクトオーナーが円滑に本サービスを利用できるよう、申込のサポート
- プロジェクトにより多くの資金が集まるよう、お取引先や地域への情報発信

全信組連

- 情報提供や説明会開催等による信用組合のサポート

MS、伊藤忠商事

- 運営主体として事務局の役割

毎日新聞社

- プロジェクトオーナーの取材記事などによる新聞紙面での情報発信

# 美容にオリーブせっけんを



返礼品を手にオリーブの葉のせっけんをPRする(右から)松崎理事長、高玉さん、本多常勤理事

## いわき市の商品化へ始動

自然派化粧品製造・販売やエステを提供するいわき市の「ハナリマ」とNPO法人いわきオリーブプロジェクトは、オリーブの葉を使ったせっけんの商品化を目指して活動を始めた。多くのポリフェノールなどが含まれるオリーブの葉の成分を美容に活用する。

## 出資者募集、多彩な返礼品用意

せっけんを使うオリーブはNPO法人が市内の耕作放棄地などを使って栽培しており、栽培地としては日本最北限。オリーブの葉には抗菌・抗酸化作用があるポリフェノールをはじめ、鉄分、カルシウム、ビタミンEなど多くの天然成分が含まれているという。商品化に向けた資金は、いわき信用組合が運営するクラウドファンディング「FAAV」磐城国(ファーボいわきのくに)を通じてリマの高玉浩子さんは「将来は地元の障害者福祉施設で生産するなど全ていわきで商品にしていきたい」と語った。NPO法人の松崎康弘理事長は「オリーブを使った食品を中心に作ってきたが、せっけんは新たな商品の可能性を示してくれた」と取り組みの意義を強調した。いわき信用組合の本多洋八常勤理事業務企画部長が同席した。問い合わせはハナリマ 電話0246(38)5045へ。

# クラウドファンディング活用

## 全国に先駆け 回転櫓盆踊り 資金調達

# いわき信組 夏祭り支援

いわき信用組合(いわき市)などが運営する地域特化型クラウドファンディング「FAAV」磐城国(ファーボいわきのくに)で、夏祭りを支援する取り組みが全国に先駆けて始まった。同市内郷地区の夏の風物詩「いわき回転櫓盆踊り大会」で使用される回転櫓の新調を支援するため、7月31日まで支援金を募っている。同市で13日、同信組などが記者会見し発表した。

クラウドファンディングはインターネット上で資金調達する仕組み。地域特化型サービスの「ファーボ」



いわき回転櫓盆踊り大会に登場する回転やぐら = 昨年8月

は全国で導入されており、現在、「夏祭りの支援」をテーマにしている。同信組はトップを切って祭り支援に着手。地元の祭りを広くPRすると共に、祭りの支援を通して地域経済の活性化につなげようとしている。

いわき回転櫓盆踊り大会は、日本一大きいとされるやぐらを回す伝統の祭りで、地元商工会などが実行委員会を組織し長年運営している。昨年まで使用していた電動の回転やぐらは1987(昭和62)年に作られた3代目で、老朽化により回すことが困難になってきたため新調する。実行委員会は、新しいやぐらの装飾費と大会運営費の資金調達を目的に、今回クラウドファンディングを利用した。支援コースは3千円から20万円までの11コースを用意。出資した支援者には出

資額に応じて、オリジナルの手ぬぐいや地酒、除幕式への出席などの特典がある。13日現在までに集まった金額は目標額62万円に対し、21万4千円(達成率34%)、支援者22人)。

同信組の本多洋八常勤理事は「いわき経済の活性化のため、まずは内郷地区に注目してもらいたい」と期待した。

いわき回転櫓盆踊り大会のクラウドファンディングに関する問い合わせは実行委事務局(電話0246(3060)へ。

# ふたばの野菜 安全発信

## 未来学園高生 郡内農家と直売会



ファーマーズマーケット開催を発表する佐藤さん(中央)。右は佐藤教諭、左は荒教諭

広野町のふたば未来学園高の生徒有志でつくる「FAMふたばプロジェクト」は八月十九日、初のファーマーズマーケット(農産物直売会)を町内で開く。東京電力福島第一原発事故の風評払拭(ふうしよ)を目標とすると準備を進め、インターネットで資金を集める「クラウドファンディング」により開催経費の十万円を募る。双葉郡内の農家とともに、地元で取れた夏野菜の安全・安心を来場者にアピールする。

# 8月開催 ネットで費用募る

プロジェクト代表の佐藤勇樹さん(モロミ三年)が十三日、広野町役場で記者会見し発表した。

ファーマーズマーケットは夏休み期間の八月十九日午前十時から午後三時まで、二ツ沼総合公園で開く。町内を中心に双葉郡内の農家約二十戸の参加を目指す。プロジェクトの生徒が育てた分も含め、キュウリ、トマトといった夏野菜を並べる予定で、安全確保の取り組みや栽培の苦労などを来場者に直接、語り掛けながら販売する。郡内各町村の特産品を紹介するほか、子どもが楽しめるコーナーを設ける方向で検討している。九月以降の開催も目指す。

「の深い増上寺(港区)の国の重要文化財である三解脱門(さんげだつもん)なども染み疑い。付近の防犯カメラ所で油のような液体をかけ、合計で十五の染みを付けて損壊した」と話した。



# 重症障害児に送迎車を

復興 あしたへ



クラウドファンディングへの協力を求める笠間理事長(左)と加藤副理事長

## いわきのNPO ネットで資金調達

重度の知的、身体障害児の家族を支援しているNPO法人まはーと(いわき市)は、インターネットで資金を調達するいわき信用組合(同)のクラウドファンディング「FAAVO(ファアボ)警城国」を活用して資金協力を求めている。

同市で来年2月20日に開所する重症心身障害児向けの多機能型デイサービス施設で利用する福祉車両購入に充てるため、笠間真紀理事長は「重い障害のある子どもたちや支える家族のために協力してほしい」と呼び掛けている。

の18歳以下を対象に、預かり保育などを行う。福祉車両は家や学校から施設に通所する子どもたちの送迎に使う予定で、購入資金の一部を募る。

目標金額は100万円です。来年1月30日まで受け付けており、支援に対する返礼品はメール、小物などとなるため、ほぼ寄付に近い形での協力になるとしている。

クラウドファンディングへの応募方法は、いわき信用組合の専用サイト「FAAVO警城国」から会員登録して申し込む。問い合わせは同NPO(電話0246・688・8266)へ。

中国新 盗撮容

広島中

までに、

トの中を

て、広島

十四人まで増えた。

佐藤さんは会見で

「農家と消費者の新しい

い触れ合いの場が生まれ

れるよう願っている。

双葉郡で取れた農作物

の消費拡大につなげた

い」と抱負を述べた。

プロジェクトの活動

を支援しているふたば

未来学園高の佐藤伸

郎、荒康義両教諭が同

席した。佐藤教諭は

「(佐藤さんの)熱意

は他の生徒の刺激にな

っており、頼もしく感

とが十三

保護者が